

コロナウイルス感染拡大防止対策について

今大会は長野県が示した発生区分レベルを基に、長野県サッカー協会の作成した活動の目安から対策を考えて行います。

<コロナ対策委員の設置、役割>

- 1 応援に来た一般客の連絡先の記入と検温、消毒を行う。
- 2 大会関係者（選手・チームスタッフ・大会スタッフ）の健康チェックシートを管理する。
- 3 今後の感染状況によってだが、無観客試合や大会中止の判断を大会関係者と打ち合わせる。
- 4 施設（更衣室・洗面所・トイレ等）、備品（ゴール・ベンチ・ボール・テント等）の消毒を行う。
- 5 観客が密になっていないか、マスクを付けているか巡回指導を行う。
- 6 会場の放送機器を使用して随時、注意喚起をする。

<選手・スタッフ>

- 1 試合前2週間の体温・体調チェックシート（協会作成シートでも独自のシートでも構わない）を記入しチーム代表者がまとめて本部に提出する。
- 2 ハーフタイムや試合終了時は手や使用施設及び備品の消毒（専門部で用意）を徹底して行う。
- 3 更衣室は交代して利用し、できるだけ窓を開放しておく。利用後はすぐに消毒をする。
- 4 試合中、ベンチ内の控え選手及びスタッフはマスクを付けるか、できるだけ間隔をとって座ること。
- 5 1回戦から準決勝までは第1試合の2チームが陸上競技場の更衣室を使用し、第2試合の2チームがサッカー場の更衣室を使用する。決勝戦に出場する2チームは長野Uスタジアムのロッカールームを使用する。
- 6 ベンチ内では自分専用のビブスを着用するかジャージを着用すること。
- 7 ボトルは自分専用のものを用意し、決して回し飲みはしないこと。
- 8 ハイタッチや抱き合う等の接触行為はできるだけ避けること。
- 9 試合前の円陣や試合後の集合写真は間隔をあけて速やかに行うこと。

<ベンチ外選手・保護者・応援者>

- 1 選手同様に、体温・体調チェックシート（協会作成シートでも独自のシートでも構わない）を記入しチーム代表者がまとめて本部に提出する。もし用意できなかった場合、試合会場に設置してある検温所で住所氏名等を明記し検温を行うこと。
- 2 試合の観戦はスタンドのみで間隔をとって座り、できるだけマスクを着用する。
- 3 太鼓やメガホンをたたくといった応援は禁止とする。
- 4 選手と接触することやチームへの差し入れ等は禁止とする。
- 5 試合終了後は、消毒作業を行うので、できるだけ速やかに退席すること。

<感染が拡大し学校活動が停止となり大会に出場できなくなったチームが出た場合>

該当チームは出場辞退を早急に事務局に報告すること。大会は以下のように進めていく。

- (1) 日程・組み合わせ表は変えずに行う。辞退チームがスーパーシード（新人戦1位、2位のチーム）であった場合、準決勝で敗退したチームと辞退チームと戦う予定だったチームとで北信越選手権大会の代表決定戦を9月13日(日)に行う。その場合、3位決定戦は行わない。
- (2) 複数の辞退チームが出た場合、大会日程を延期した上、組み合わせを再編成して行う。決勝戦は9月19日(土)と決まっているので、平日開催もあり得る。
- (3) 過半数の辞退チームがでた場合、大会は中止とし、昨年度の新人戦1位、2位チームが北信越選手権大会の出場チームとする。